

greeting

ごあいさつ 総看護師長 村中 くるみ



総看護師長の村中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
当院は回復期医療を担う、100床のリハビリテーション病院です。利用して下さる方に寄り添い、心をこめて、最大限の機能回復を支援しています。そのためには、関わる方の回復に関心を持つことや専門的知識・技術の研鑽が必要になります。チーム医療の中で看護の専門性を発揮するためには、多職種とのコミュニケーションも重要になります。日々患者様と関わる場面では悩むことも多いのですが、回復して笑顔で退院される患者様を見送るときには職員もみんな笑顔になっています。

今年度は特に退院後訪問指導に力を入れています。退院された方のご自宅に訪問し、困っておられることを解決したり、ご家族の不安に耳を傾けたりしています。患者様や家族、在宅スタッフも、入院生活とは異なり自宅での生活を再度構築するところに、顔なじみの職員が行くので、相談しやすいと歓迎して下さいます。訪問看護から帰った看護師が楽しそうにしているのは、家に帰って元気になっている患者様に会えたのが嬉しかったからだそうです。

昨年、育てていた黄色いチューリップがタイミングよく咲いたので、新しい職員の方や病院を利用して下さる方を迎えるため、病院の玄関に飾りました。今年も球根から少しずつ伸びてくる芽が、春に来られる方を迎えるための準備をしています。今年度もあと2か月、看護科もまだまだ課題が山積しています。多職種と協働し、市民の皆様に信頼されるリハビリテーション医療を提供できるように、努力していききたいと思います。



新任医師紹介



医療科 後期研修医 西田 康朗

2019年10月より広島市立リハビリテーション病院に赴任しました。

私は2016年度に広島大学医学部を卒業した後、広島大学病院で初期研修医として2年経験を積み、2019年に広島大学病院リハビリテーション科に入局しました。在宅・訪問診療に興味があり、将来的に携われたらと考えています。急性期から生活期への流れを学ぶ上で、回復期は学ぶことが多く、ここでの経験を今後に活かせたらと思います。まだまだ若輩者で至らない点も多いと思いますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

資格取得者のご紹介

リハビリテーション技術科 主任 理学療法士 重松 邦彦

この度、一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会が主催する回復期セラピストマネジャーコース（2019年度・第10期）を修了し、**回復期セラピストマネジャー**として認定されました。今後、セラピストの人材育成と多職種連携強化に関わり、患者サービスの向上に貢献していきたいと考えています。また、地域リハビリテーションの実践に携わり、より一層の社会貢献に努めてまいります。



看護科 介護士 白鞘 加恵

介護福祉士の専門性を高めるため、**ファーストステップ研修**を受講しました。232時間をかけて、ケア・連携・運営管理基礎を学び、リーダーとしての知識を身につけることができました。現場で活かしていけるように頑張ります。



地方独立行政法人広島市立病院機構
広島市立リハビリテーション病院・自立訓練施設

731-3168 広島市安佐南区伴南一丁目39番1号
TEL (082) 848-8001 FAX (082) 848-8003
E-mail riha-hosp@hcho.jp



介護保険通所リハビリテーションを開始

2019年10月より短時間通所リハビリテーションを開始しました。要支援や要介護認定を受けられた方で、失語症によりコミュニケーションに難しさを感じておられる方を対象としています。週1回、1~2時間、文字の読み書きや会話等の練習をしています。グループで互いに励まし合いながら練習課題や会話を楽しまる中で、各々の生活目標を持ち、ご自分の役割を見つけることや趣味・地域での活動等に繋げることを目標として活動しています。（写真上）

地域の介護予防・日常生活支援総合事業の支援

広島市立リハビリテーション病院では、広島県地域リハビリテーション広域支援センターとして地域包括ケアシステムの実現に向け、地域における様々な機関と連携しながら総合事業へ参画しています。

リハビリテーション専門職である理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が介護予防、健康増進を目的とした体操（いきいき百歳体操等）を住民主体で行っている通いの場（拠点）に伺い、指導及び助言をさせていただいております。



住民の皆さんが体操を効率的にかつ継続して行えるよう専門性を活かしながら笑顔で楽しい雰囲気での介護予防の支援を行っています。



第6回市民公開講座

12月1日に市民公開講座を行いました。6年目となる今回のテーマは「**認知症**」です。高齢化社会への移行に伴い、認知症への関心が高まっています。当院では、認知症を伴った入院患者の増加を受け、認知症状の悪化を抑える認知症ケアに積極的に取り組んでいます。



▲池田医師による講演

認知症は予防が最も大切です。絶対に認知症にならない方法はありませんが、生活習慣病の予防、栄養バランスのよい食事、趣味活動や適度な運動・睡眠などが認知症予防に効果があることがわかってきました。

当日の講演では、認知症の基礎知識や予防に関する話のほか、脳の活動を活発にする「**コグニサイズ**」の実演も行いました。コグニサイズは体を動かしながら楽しく脳トレを行う認知症予防プログラムです。受講者75名も一緒に体験していただきました。

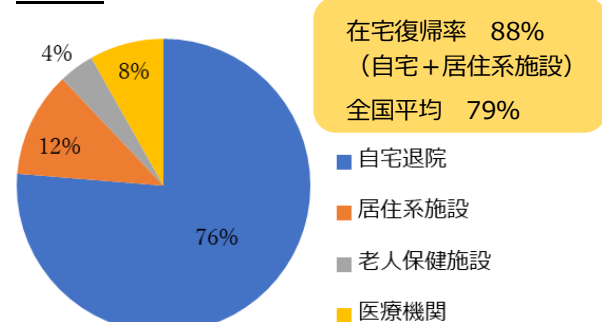


平成31年度上期（H31.4.1～R1.9.30）診療実績

- ・入院患者数 延べ17,067人（1日平均93.3人）
- ・病床利用率 94.7%
- ・平均在院日数 72.2日
- ・入院患者1人1日当たりリハビリ単位数 8.5単位（1単位20分）
- ・実績指数 47.4
〔※入院期間中のリハビリ効果を示す指標
（回復期リハビリ病棟の施設要件は37以上）〕

退院後も継続してリハビリテーションを提供するため、外来リハビリや訪問リハビリなど在宅療養への支援を行っています。

退院先

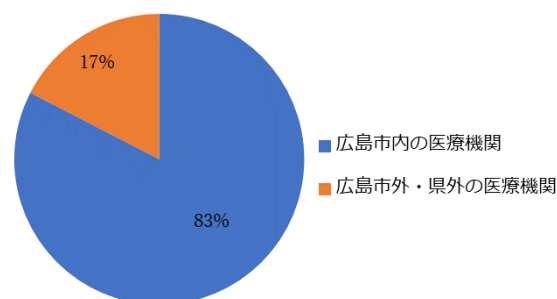


退院患者232人（H31.4.1～R1.9.30）

在宅復帰率 88%
（自宅＋居住系施設）
全国平均 79%

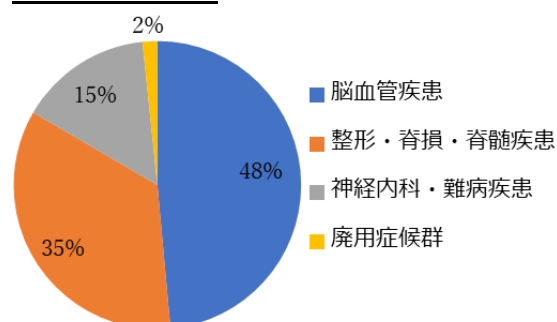
当院は365日リハビリテーションを提供しています

紹介医療機関



入院患者241人（H31.4.1～R1.9.30）

入院患者主病名



入院患者241人（H31.4.1～R1.9.30）



クリスマスコンサート



12月9日に当院の1階プロムナードで、クリスマスコンサートを開催しました。

音楽療法による入院患者様の訓練意欲の向上や精神面の安定のために、リハビリテーションの一環として、開設当初から毎年12月に実施しています。

令和最初となった今回のクリスマスコンサートでは、**広島市消防音楽隊**の皆様に出演していただき、患者様やそのご家族、職員など計140名が参加しました。穏やかな音色のクリスマスメドレーが鳴り響き、心癒されるひとときを過ごしました。

自立訓練施設の紹介

施設では、おもに病気や事故などで身体障害が残った方や高次脳機能障害のある方々に対し、障害者総合支援法に基づき、自立訓練（機能訓練・生活訓練）サービスを提供し、社会復帰を支援しています。

施設での取り組み ― 企業見学会 ―

企業見学会は、広島市近郊で積極的に障害者雇用を進めておられる企業にご協力いただき、当施設と広島市障害自立支援課が共同で、毎年度開催しています。

今年度は、10月31日に**（株）広島情報シンフォニー**（写真右上）、12月5日に**（株）府中テンパール**（写真右下）を訪問しました。

（株）広島情報シンフォニーは情報システムの開発やネットワークの提案などを行う企業です。

見学では、重度の障害で通勤が難しい在宅勤務の職員の方とビデオ通話で話せる機会があり、仕事内容、仕事の進め方、これまでのご苦労や実際の一人暮らしの様子なども知る特別な機会となりました。

また、**（株）府中テンパール**は住宅用分電盤や配線用遮断器類などを製造する配線器具製造事業を行う企業です。

見学では、車いす利用の職員の方が工場内で実際に仕事されている様子を見学することができ、会社見学でしか知ることができない貴重な経験となりました。

参加された方々からは、「自分が就職する時の参考になった」、「就労に向けてのイメージを持つことができた」、「自分にはレベルが高かった」、「自分の障害では作業が難しそうだった」など、前向きな感想、課題を知る感想のどちらも聞くことができました。

参加された皆様には大きな収穫があったように思いました。

就労を目指されるご利用者のモチベーション向上や目標像の確立に繋がるように、来年度も“企業見学会”を実施したいと考えています。

